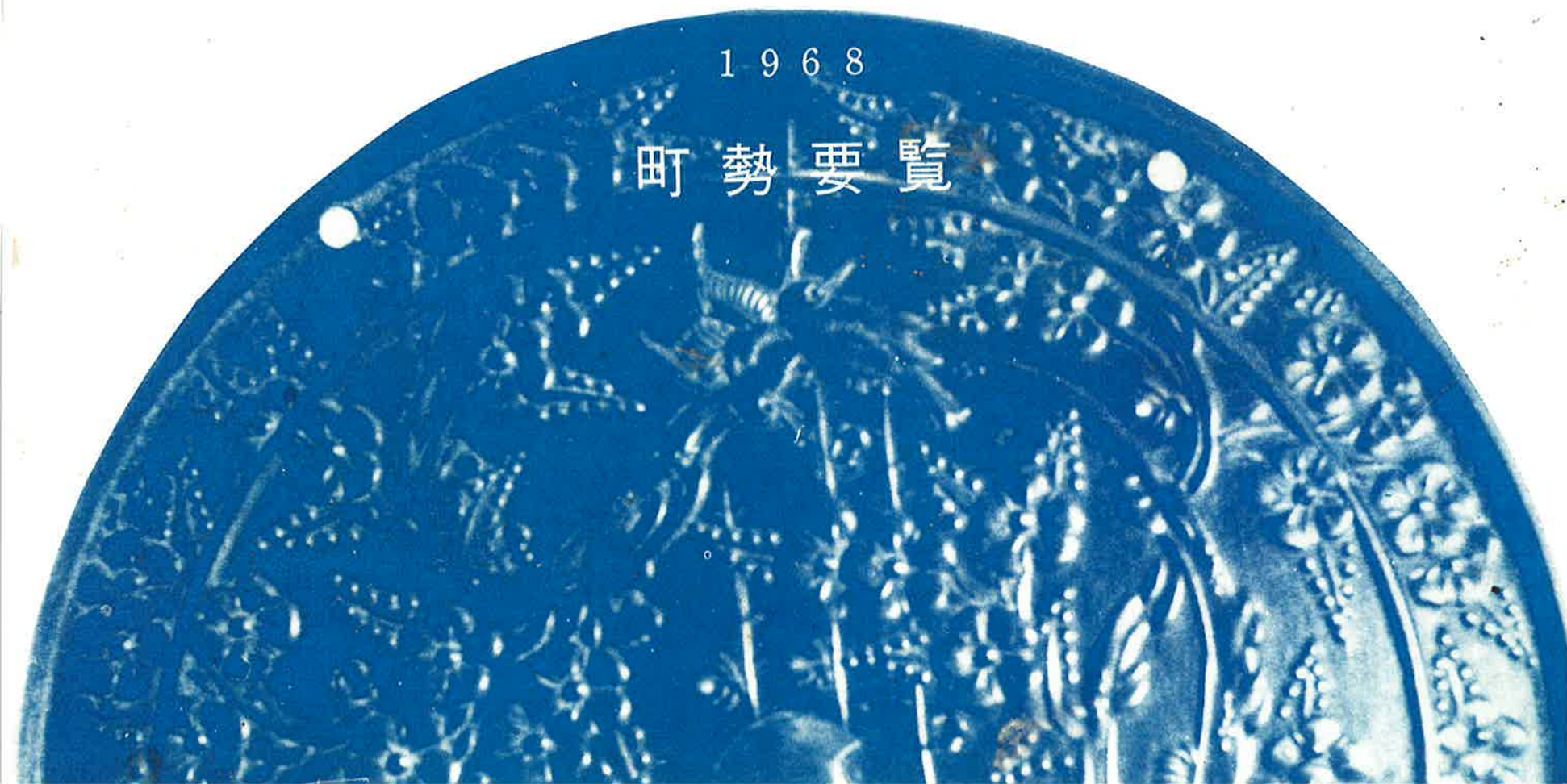


# 一宮町

1968

町勢要覽





梅樹双鳥鏡

鎌倉時代の作品で、国の重要文化財に指定されています。鏡の背面の模様は、草のおいしげる岸辺に梅樹がみごとに画かれて、そのなかに二羽の鳥が遊ぶ美しい図柄です。

(玉前神社蔵)

目 次

沿革	1～2
行政	3
財政	4
特別会計事業	5
人口と構成	6～7
産業と経済	8～11
教育と文化	12～13
社会福祉	14
土木・建設	15
運輸・通信	16
治安・消防	16
観光	17

# 沿革

## 1 町のおいたち

一宮町は、原始時代の遺跡（細田横穴群24基・柚木横穴群13基・貝殻塚貝塚＝縄文後期・野中遺跡＝縄文後期・待山円形古墳7基・など）も多く、古くから先住民が生活していたと思われます。奈良時代には、玉前神社が上総一宮の格式をもつようになって開発が進んできたようです。鎌倉時代には、上総平氏の平常家から4代広常までの館を一宮柳沢城（高塔山）にかまえていたといわれます。また、徳川時代には、享保年間に遠江守加納久通の所領と●って幕末まで8代140余年にわたって城下町として繁栄しました。

中古以前は殖生郡に属して一宮荘の中心でしたが、後に長柄郡に編入されて一宮本郷村と呼ばれていました。明治4年に藩制が廃止されて木更津県の所管に、明治6年には新に県制がひかれて千葉県長生郡となりました。明治14年12月に新菱村を併せて一宮町と改められました。その後、昭和28年11月に東浪見村を合併して、続いて昭和29年4月に船頭給・昭和30年4月に新地・同年9月には宮原がそれぞれ長生村から分村合併して現在の一宮町となっています。

## 2 町のいまの姿

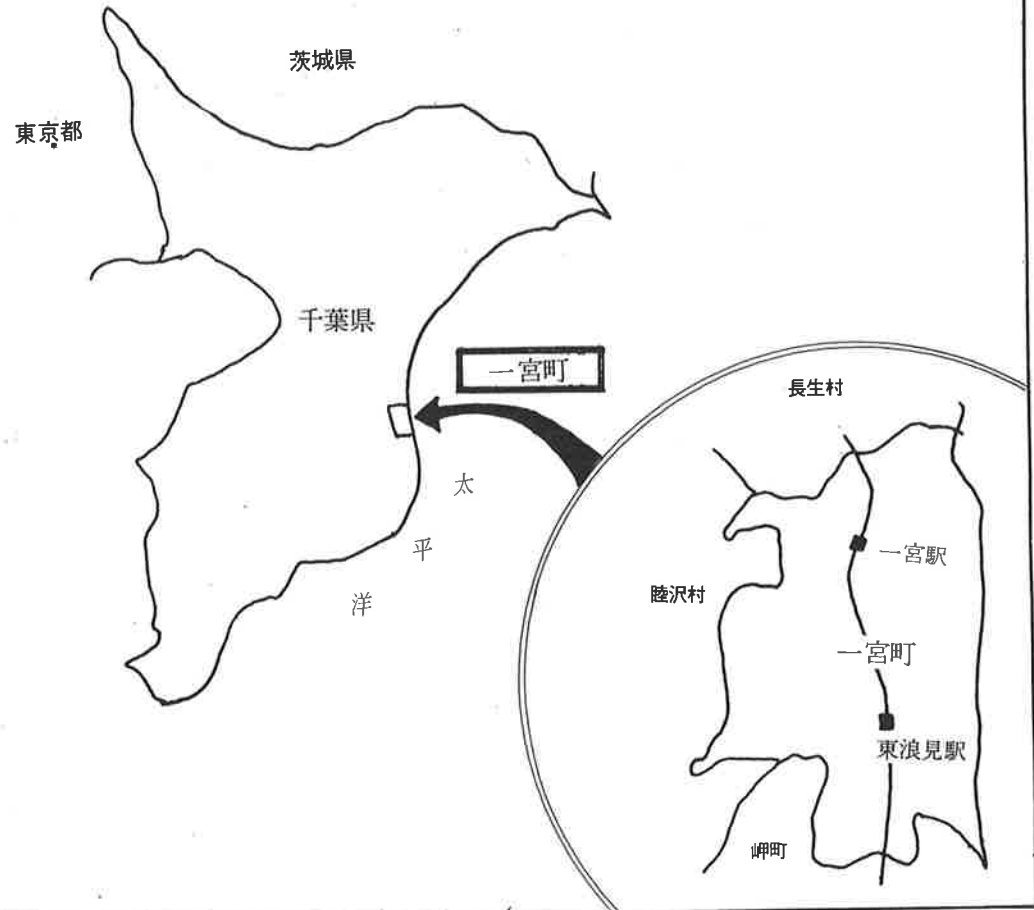
国鉄房総東線が南北に走り、上り・下りとも約1時間ごとに運行しており、町内には上総一宮駅と東浪見駅があって国鉄の利用には便利です。主要道路は国道128号線が町を横断していて、飯岡～一宮線・南総～一宮線・一宮停車場線の県道と交流して交通の便は良い現況です。従って、バスの路線も多く貨物の中継所として重要な場所となっています。

町の戸数の約40%は農家で、主要生産物は水稻ですが、ビニールハウス利用の野菜栽培・果樹・酪農が盛んで近代的な多角経営で収入も多いといえます。商業は、都市を中心とした商業の発展にともなう影響が大きいですといえますが、誠実な経営によって永年の信用を得ている商店も多く、近隣町村からの客が相当の割を示めています。また、郡内の茂原市の発展と交通の便のよい関係で俸給生活者が他町村に比べて多いため、生産物や商品の町内消費高は大きいといえます。

# 位置

一宮町は、千葉県太平洋岸の九十九里浜の南端にあって、東経140度21分・北緯35度22分にあたっています。

面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (1 km <sup>2</sup> あたり)
23.65	431.1





一宮町庁舎全景

一宮町庁舎概要

庁舎床面積 (内訳)	1.176.07	総経費 (内訳)	47.151.000円	竣工期日	昭和42年5月26日
1階	430.78	設計管理費	1.500.000円	設計	岡建築設計事務所
2階	655.29	庁舎建築費	41.035.000円		
倉庫	90.00	土地購入費	2.000.000円	施工	加藤工務店
車庫		造園工事	500.000円		
敷地面積	2.975.20	基盤調査	116.000円		
		庁内備品	2.000.000円		

加納久宣公

近代的な一宮町の創建のため功績のあった加納久宣公の胸像が、役場議場の一角に安置されており、久宣公は第八世加納藩主で明治2年大学南校でフランス学を修め、卒業後に盛岡師範学校長・新潟師範学校長・大審院検事を歴任して、明治17年に子爵の位を授与されています。明治27年には鹿児島県知事として県政の改革にあたって地方政治に貢献しました。また、貴族院議員を三期にわたってつとめて、産業組合・帝国農会・日本競馬会・日本体育会の創立にあたって“農政の父”と仰がれました。特に晩年の明治45年2月には懇請されて一宮町長に就任して、県下で初めての耕地整理を施工したり、観光地として基盤をきづくなど、一宮町の発展に寄与しています。大正8年3月に71才で歿し、正二位勲二等に叙せられました。



役場一階事務室

# 行政

## 議決機関

町会議員名簿 (定員22名)

議長 酒井伊之助 副議長 鶴岡 栄

議席番号	氏名	生年月日
1	(欠員)	
2	高師喜一郎	M 32.10.16
3	風袋 義次	M 33. 7. 9
4	原田 孝	M 42. 6. 16
5	鈴木 郷	M 39.11.18
6	鶴岡 栄	T 4. 4.22
7	伊藤 博	T 15. 6.17
8	御園生 謙三	M 31. 9.11
9	嵯峨野 永	M 35.10.13
10	鶴沢 一治郎	T 6. 1.20
11	長谷川 静	T 12.12.18

議席番号	氏名	生年月日
12	秋山 嘉平治	T 15. 7.12
13	小川 佐一郎	T 3. 6.24
14	三枝 彦一	S 4. 7. 1
15	板倉 正	T 13. 2. 5
16	森 英吉	M 41. 8.25
17	峰島 滝治	T 5. 3.16
18	鈴木 武	M 45. 3.12
19	小高 長作	M 33. 7.26
20	渡辺 武司	M 43.10.16
21	中村 孫右衛門	T 4.11. 2
22	酒井伊之助	M 33.11.27



## 執行機関

町長の事務部局の機構は、管理課・企画課・事業振興課・税務課・住民福祉課の5課に分れていて職員は42人です。そのほか、議会議務局4人(そのうち兼務2人)・選挙管理委員会4人(兼務)・農業委員会3人・教育委員会3人が配置されています。また、事業関係では、保育所17人・簡易水道3人・有線放送7人・国民宿舎5人・なぎさの家2人が担当しています。

### 町執行三役氏名

町長	清水 孝平	昭39・5・26就任
助役	小安 亮行	昭40・4・1就任
収入役	斉藤平左衛門	昭39・7・1就任



町議会審議の状況

# 財政

## □一般会計・特別会計の推移

(単位 千円)

会計別	昭 30 年		昭 35 年		昭 40 年	
	歳 入 額	歳 出 額	歳 入 額	歳 出 額	歳 入 額	歳 出 額
一 般 会 計	26,392	25,833	63,427	61,478	234,758	224,455
国民健康保険特別会計			13,229	11,066	35,571	29,737
有線放送事業特別会計			3,533	3,140	27,083	26,663
渡船事業特別会計			4,023	4,017	1,701	1,492
簡易水道事業特別会計					15,386	14,893
一宮荘運営特別会計					8,346	8,156

## □昭和41年度一般会計決算

(単位 千円)

歳 入			歳 出		
科 目	予 算 額	決 算 額	科 目	予 算 額	決 算 額
町 税	49,504	51,706	議 会 費	4,988	4,976
地 方 交 付 税	49,613	49,613	総 務 費	64,769	64,004
分担金及び負担金	4,410	4,348	民 生 費	27,617	26,290
使用料及び手数料	3,492	3,377	衛 生 費	3,672	3,564
国庫支出金	17,892	16,461	労 働 費	2,461	2,355
県 支 出 金	33,415	33,567	農 林 水 産 業 費	41,334	40,175
財 産 収 入	2,233	2,325	商 工 費	3,127	3,100
寄 附 金	3,293	3,315	土 木 費	29,623	28,563
繰 入 金	1	0	消 防 費	5,263	5,086
繰 越 金	10,302	10,303	教 育 費	13,787	13,450
諸 収 入	3,363	2,652	災 害 復 旧 費	4	0
町 債	30,700	30,700	公 債 費	7,119	6,647
			諸 支 出 金	4,350	4,350
			予 備 費	104	0
計	208,218	208,367	計	208,218	202,560

# 特別会計事業



一宮川ぞいの国民宿舎

## □国民宿舎

昭和39年6月 落成  
 建設費 9,000,000円  
 客室 10 収容人員 40名  
 一宮川の河畔にあって、夏は涼しく、冬は暖かい閑静な宿舎として好評です。

## □渡船事業

船数 5隻 運行期日 7～8月  
 航行距離(鉄橋下～海岸)約2km  
 延利用者数 33,480名  
 (昭和42年度)  
 料金収入 1,263,000円  
 昭和36年6月30日に町営に移管、取得金額 3,325,000円

## □簡易水道

昭和39年4月20日完成  
 工事費=32,225,000円

### 用途別使用量

用途別	件数	給水量
家庭用	741	91,000m <sup>3</sup>
その他	34	29,000m <sup>3</sup>

### 給水状況

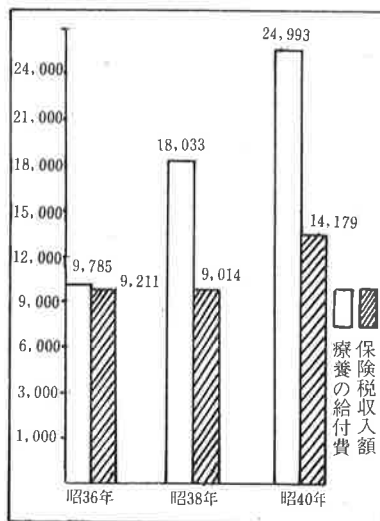
給水戸数	年間給水量	月平均給水量	配水管延長
775戸	120,000m <sup>3</sup>	10,000m <sup>3</sup>	20,033m

### 保険給付内容

療養給付範囲	一部負担金割合		その他の給付		
	世帯主	世帯員	助産費	葬祭費	育児手当
制限なし	3割	3割	2,000円	3,000円	1ヶ月 200円 (6ヶ月分)

## □国民健康保険

国民健康保険療養の給付と保険税の推移 (単位千円)



## □有線放送

業務開始 昭和34年4月10日  
 改修年月日 昭和40年4月10日  
 公社接続開始 昭和41年2月10日  
 交換方式 富士通信KK H型自動式  
 施設費 51,000,000円  
 加入者数 1,752 加入率 74.3%

## 広域事業

### ○し尿処理場

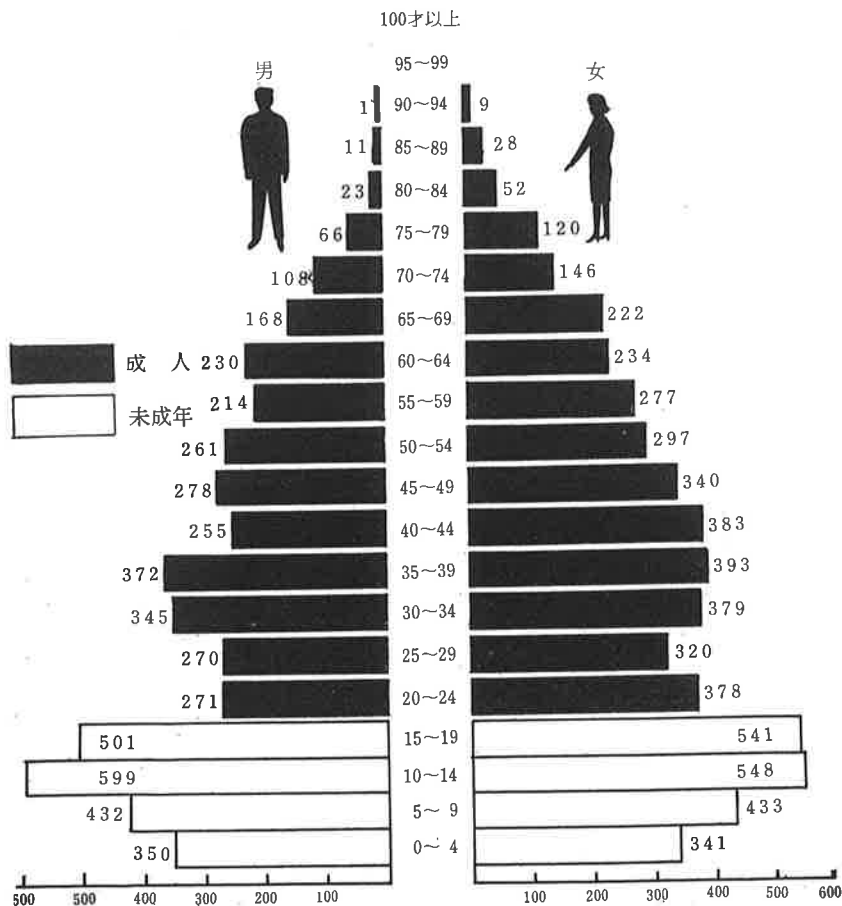
昭和41年11月1日、長南町・本納町・長柄町・白子町・陸沢村・長生村・一宮町と、茂原市との組合立で茂原市大芝に設立したものです。処理能力は月7,500石で一宮町からの投入量は月平均で490石程度です。

### ○火葬場

一宮町・岬町・陸沢村・白子町・長生村の五ヶ町村の組合立で昭和37年3月31日に完成しています。ロータリー式オイルバーナーの火葬炉・コンクリート・ブロックの祭場・待合室・専用自動車の設備があります。昭和41年度の利用件数は77件で一宮町内の利用件数は33件となっています。

人口と構成

□年令・男女別人口



□世帯数と人口

世帯数	人口総数		
	男	女	計
2,251	4,755	5,441	10,196

□人口の推移と動態

(毎年12月末日現在)

年次	世帯数	人口	出生	死亡	転入	転出
37	2,267	10,693	144	95	402	555
38	2,240	10,592	135	80	446	602
39	2,254	10,443	120	95	375	549
40	2,271	10,324	143	118	407	551
41	2,318	10,178	84	93	480	617

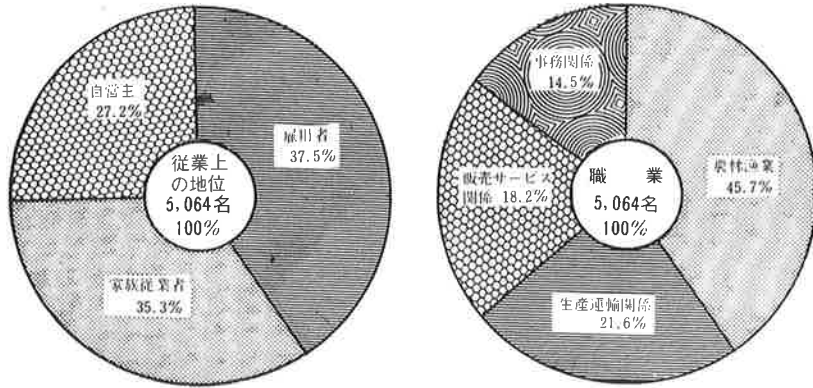
□就業者の産業別構成(15才以上)

産業分類	総数	男	女
総数	5,064	2,694	2,370
農業	2,333	1,067	1,266
林業・狩猟業	1	0	1
漁業・水産養殖業	15	12	3
鉱業	2	2	0
建設業	220	198	22
製造業	646	381	265
卸売業・小売業	809	379	430
金融・保険・不動産業	52	34	18
運輸・通信業	249	220	29
電気・ガス・水道業	37	35	2
サービス業	543	252	291
公務	156	114	42
分類不能の産業	1	0	1



## □就業者の産業別構成

昭和40年国勢調査



## □労働力状態人口(15才以上)

	15才以上人口	労働力			非労働力人口
		労働力総数	就業者	失業者	
総数	7,493	5,126	5,064	62	2,367
男	3,374	2,741	2,694	47	633
女	4,119	2,385	2,370	15	1,734

## □産業別就業者数の推移(15才以上)

産業分類	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年
総数	4,178	4,987	5,052	5,064
農業	2,555	2,866	2,649	2,333
林業・狩猟業	1	1	2	1
漁業・水産養殖業	19	11	19	15
鉱業	31	27	58	2
建設業	98	128	173	220
製造業	304	408	539	646
卸売業・小売業	507	716	753	809
金融・保険・不動産業	24	35	55	52
運輸・通信業	165	202	183	249
電気・ガス・水道業			29	37
サービス業	356	472	460	543
公務	116	120	132	156
分類不能の産業	2	1	0	1

(船頭給・新地・宮原を除く)

## □長生郡内町村別世帯数・人口密度

(40年国勢調査)

町村	世帯数	人口			面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (1km <sup>2</sup> に付)
		総数	男	女		
総数	14,374	69,799	33,228	36,571	261.87	266.5
一宮町	2,251	10,196	4,755	5,441	23.65	431.1
陸沢村	1,499	7,407	3,560	3,847	35.44	209.0
長生村	1,944	9,709	4,554	5,155	28.78	337.4
白子町	2,301	11,297	5,464	5,833	27.02	418.1
本納町	2,118	10,389	4,952	5,437	34.40	302.0
長柄町	1,655	8,064	3,883	4,181	47.04	171.4
長南町	2,606	12,737	6,060	6,677	65.54	194.3



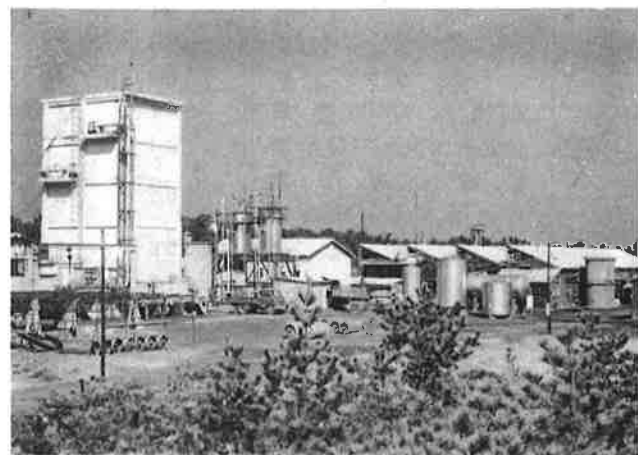
二十世紀の実もたわわな

梨の収穫



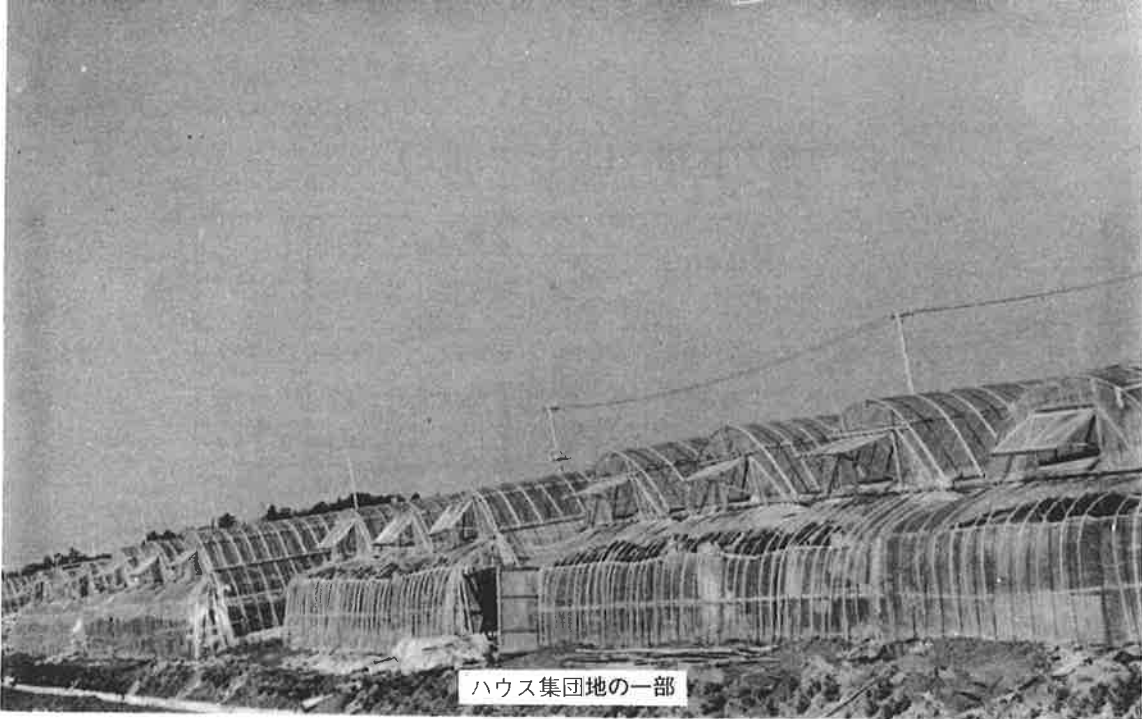
脱穀・乾燥・荷積までの

ライスセンター



ガスの採集とヨード製造の

伊勢化学KK



ハウス集団地の一部

## 産業と経済

本町の産業は、農業が主体であって自然環境を生かした米・蔬菜・果樹・酪農など経営の近代化が行われるようになってきました。したがって、農業収入は他の地域に比較して多い現状です。企業としては、地下資源の天然ガスの供給を行っている大多喜天然ガス（昭和12年創業）と、ガスの採集とヨード製造を行っている伊勢化学があります。そのほか、製材・食料品・酒造業・自動車整備工場・鉄工所などの小工場が50軒余あります。また、

商店は、千葉市・茂原市の大商店におされぎみですが、永年の信頼と近隣町村の顧客の支持と商工会の活動によって販売額ものびをみせています。農業の振興策と商工業の経営合理化が徐々に進められている段階で、産業の高度成長は期待できない現況です。しかし、地方小都市の形態のなかでは、安定した経済活動が行われているとみられます。

# 農業

## ◎専兼別農家数および経営耕地面積別農家数

	専兼別		経営耕地面積別農家数						
	専業	兼業	10 a	30 a	50 a	70 a	100 a	150 a	200 a
			30 a	50 a	70 a	100 a	150 a	200 a	300 a
総数	392	471	64	86	100	202	309	91	11
一宮	216	289	33	53	51	98	188	72	10
東浪見	176	182	31	33	49	104	121	19	1

## ◎農家人口

常住世帯人員			16才以上の世帯員の就業内訳					
総数	男	女	総数	農業だけに	農業と兼業に従事した人		兼業だけに	農業にも兼業にも従事しない人
				従事した人	農業が主	兼業が主	従事した人	
4,671	2,226	2,445	3,462	2,069	110	231	419	633
構成比	47.7	52.3		59.7	3.2	6.7	12.1	18.3

## ◎主な果樹の栽培状況 S42.2.1

	栽培農家数	成	園	未成園	
		農家数	栽培面積	農家数	栽培面積
なし	206	171	2,467 <sup>アール</sup>	48	316 <sup>アール</sup>
もも	11	11	43		
温州みかん	63	32	161	45	183
夏みかん	22	13	36	9	30
その他	14	10	82	5	27
計	246	199	2,789	84	556

一宮には古くから採取経済に依存していた住民がいたことは貝塚などの遺跡からも推察されると共に、農耕生活による土地の開拓も比較的はやく行われたようです。徳川末期の天保年間の一宮本郷村村鑑明細帳によると、稲・麦・粟・黍・大豆・木綿・芋類の農産物がつくられていました。徳川末期の加納藩の農政は、佐藤信淵が顧問格で指導にあたったためきわめて進歩的であったといわれています。明治年間には、加納久宣子爵が農業に対する見識も深かったので、全国にさきがけて耕地整理を行ったり誘蛾灯を設

置したり新品種の導入をしたり養鶏養豚品種改良にあたったので、早くから農業近代化の基盤がきざかれていました。

果樹(梨)は、明治26年に移入されたといわれ、酪農も明治29年に牧場を経営した人があり、養鶏も大正9年に専業として経営を初めている実績があります。恵まれた自然条件と進歩した栽培技術をいかして、ビニールハウスによる半促成栽培(トマト・キュウリ)が普及し、栽培面積は5万アールをこえています。

経営類型は、米+蔬菜の典型的な経営であるので、農業収入も多い現状です。

## ◎主な農作物の収穫・販売状況 S40.2.1

種類	収穫戸数	収穫面積 <sup>アール</sup>	販売戸数	種類	収穫戸数	収穫面積 <sup>アール</sup>	販売戸数
水稲	863	54,037	740	トマト	275	584	181
小麦	614	6,206	349	野きゅうり	361	540	179
大麦	430	5,411	211	なす	646	663	305
馬鈴薯	658	1,144	162	菜はくさい	357	444	94
甘藷	757	8,457	406	かんらん	378	444	149
まめ類	494	1,101	120	類たまねぎ	593	532	83
たばこ	6	256	6	だいこん	726	1,597	244

## ◎主な家畜飼育頭数の推移

	乳牛	役肉牛	馬	山羊	豚	にわとり
昭和30年	33	390	139	32	361	7,738
昭和35年	120	310	31	17	552	9,462
昭和40年	251	123	0	4	775	10,003

事業一覧表

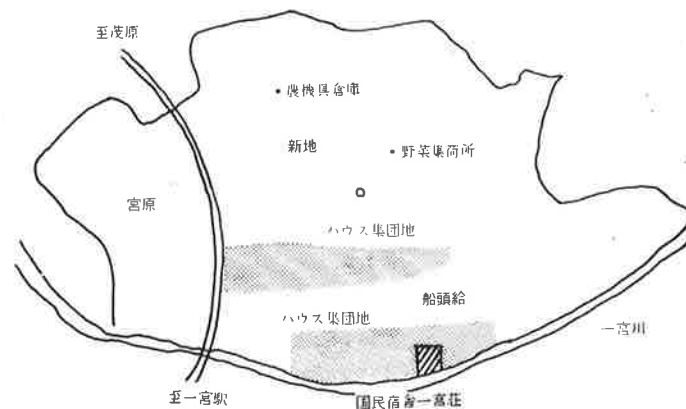
(単位千円)

事業種目	施工所 箇所	受益範囲		事業量	事業費
		戸数	面積 ha		
土地基盤整備(区画整理)	1	296	163.83	163.87	86,088
トラクター	1	60	45	435 P.S2台 附属機一式	4,800
農機具格納庫	1	60	45	鉄筋スレート 葺平家一棟	1,025
野菜集荷所	2	45	583.2㎡	二棟	8,210

事業費負担区分

(単位千円)

区分	事業費	負担区分					
		国庫補助額	県費補助額	町費	公庫金	近代化資金	その他
土地基盤整備	86,088	43,044	17,217	1,050	19,800		4,977
経営近代化施設	14,035	6,992				6,980	63
計	100,123	50,036	17,217	1,050	19,800	6,980	5,040



# 農業構造改善

農業の近代化のための農業構造改善は、本町では一宮川を境とする北部地帯を指定して実施されました。この計画の第一のねらいは土地基盤の整備によって田畑の全域を移動して集団化することで、第二のねらいは蔬菜+

米の経営類型を近代化するためトラクターの導入・蔬菜集荷施設の設置を行うことになりました。その実績は予想どおりの成果を期待できる現況にあります。



↑ 基盤整備の現場  
↑ トラクターの耕起作業

# 一宮町 商工まつり

昭和42年10月7日～10日まで、  
一宮町商工会発足7周年を記念して  
“商工まつり”が行われました。

町の商業発展を期して、自動車  
ショー・盆栽生花展・東浪見甚句  
発表会・ブラスバンド街頭行進・  
三橋美智也ショーなどの多彩な行  
事がもたれました。この諸行事は  
商工会青年部・婦人部の積極的な  
活動が中心となって町当局・各種  
団体の協力によって実施できたも  
のです。茂原市・千葉市の商店の  
影響を受けている小都市の行事と  
しては特色あるものといえます。

(写真は自衛隊ブラスバンドの街  
頭行進)



## 商店の状況

(単位万円)

産業分類別	商店数	従業者数	年間商品販売額
一般卸売業	33	206	94,085
織物・衣服・身のまわり品小売業	29	111	16,993
飲食料品小売業	88	199	31,801
自転車・荷車小売業	10	17	2,710
家具・建具・什器小売業	22	70	19,598
その他の小売業	31	178	26,974
飲食店	20	43	2,027
計	233	824	194,188

## 商工業

加納藩時代は、漁業が盛んで、  
海産物問屋が繁栄して軒をならべ  
その他の商店も活気があったよう  
です。明治時代になって商行為が  
活発になるに従って、玉前神社を  
中心として商店街が南北に形成さ  
れました。明治6年の記録では、  
商業151戸で賑いをみせていたよ  
うです。その頃の商業の特色とし  
ては小売を兼ねた卸売業が多く県  
下の商業地として八日市場・佐原  
・東金・木更津と並び称されてい  
たものです。

しかし現在では、茂原市・千葉  
市の飛躍的な発展にともなって商  
店街はやや衰微の傾向にあるよう

です。商工振興対策としては、昭  
和23年に商工会が発足して、福引  
大売出し・融資斡旋・ネオン燈の  
設置などの活動が行われました。  
その後、昭和35年9月には法律に  
よる商工会が創立されて、経営指  
導員も配置されて活発な活動を初  
めると共に昭和36年4月には千葉  
県企業員の指導によって商店街診  
断を行うなど実績をあげています。  
現在の会員は約230名です。その  
ほか、一宮チケット商店会・一宮  
町サービス店会・宮原サービス会  
が顧客を固定させるための対策に  
あたっています。

## 工場の状況

(S41.12.31現在)

食料品	繊維工業	衣服その他の 繊維製品	木材製品	家具 装備品	出版印刷
18	8	5	6	1	1
化学工業	皮革製品	窯業土石	機械	電気機械	その他
2	1	1	1	2	6

# 教育と文化



町内の小・中学校は、一宮小学校・東浪見小学校と一宮中学校の3校あります。中学校は、昭和33年8月に東浪見中学校と一宮中学校の2校を統合して現在の一宮中学校としたものです。

高等学校は、千葉県立一宮商業高等学校があります。これは大正14年5月に一宮町有志によって設立された私立一宮実業学校が、新学制の実施と高校再編成で県立高校に改められたものです。

一宮中学校体育館

## □町立小・中学校

昭和42. 7. 31現在

学校名	児童(生徒)数			学級数	教職員数		
	男	女	計		男	女	計
一宮小学校	(7) 347	(3) 387	(10) 734	(1) 20	11	15	26
東浪見小学校	135	129	264	9	5	7	12
一宮中学校	(7) 310	(2) 311	(9) 621	(1) 15	17	8	25

( ) は、特殊学級

## □県立高校(一宮商業高等学校)

昭和42. 7. 1 現在

学年	生徒数			学級数	教職員数		
	男	女	計		男	女	計
1	156	145	301	6			
2	167	140	307	6	40	8	48
3	153	168	321	6			
計	476	453	929	18			

## 学校教育



## □小・中学校建築状況

建築年度 昭和28~40	面積㎡	種別	建築年度 昭和28~40	面積㎡	種別
(一宮中学校)			37	116	料理教室
28	273	校舎	38	680	体育館
30	145	音楽教室	(一宮小学校)		
33~34	755	校舎	40	1,054	校舎
36	522	校舎			

## □一宮中学校卒業生進路状況

年度別	卒業者数	進路状況		
		進学	就職	家事
昭和30年	159 (63)	69 (36)	48 (25)	42 (2)
昭和33年	183 (60)	91 (28)	67 (28)	25 (4)
昭和35年	221	105	87	29
昭和40年	280	184	48	48
昭和42年	228	144	53	31

( ) は東浪見中学校



一宮小学校新校舎

# 社会教育

一宮町の社会教育は、青少年教育の充実・成人教育の振興・社会体育の振興・文化の振興・文化財の保護などの施策をおしすすめて、町づくりと人間形成をめざして活動しています。

青年団体は、市街地青年クラブ（会員45名）・青年クラブ（会員40名）・4Hクラブ（会員20名）の三団体があってそれぞれ独自の活動をしています。また、子ども会は、子ども会育成協議会が中心となって12地区に結成されていて、リーダー講習会・ソフトボール大会・年忘れ子ども大会・春の子ども大会・ハイキング・夏期キャンプなど多彩な行事がもたれているほか、町内の鳴山地区には専用キャンプ場があります。

成人教育では、家庭教育学級・生活学級・婦人学級・夫婦学級があって、それぞれ部落単位の小グループで学習活動をしています。そのほか、婦人を対象とした料理教室・主婦教室なども行われています。

また、社会体育の振興のための体育協会の体勢強化・文化振興の為の愛好者グループ（短歌・俳句・写真・生花）の育成・文化財の保護についても努力がはらわれています。



生活学級で学ぶ婦人たち

## 文化財・史蹟案内

一宮町は、古くから上総地方の中心として繁栄してきたので、文化財は豊富ですぐれたものが数多く残されています。そのうち、国指定重要文化財1件・県指定文化財4件が選ばれています。

〔梅樹双鳥鏡〕＝国指定重要文化財  
玉前神社の神鏡で、鎌倉時代の作品です。文様は、草のおいしげる川辺から上半面に大きいびた梅樹がみごとに画かれ、その間に2羽の鳥が遊ぶ図柄となっています。

〔上総神楽〕＝県指定無形文化財  
玉前神社に伝わる神楽で、現在は十六座が継承されています。舞の形・拍子・面などがよく保存されていることが特徴といえます。  
1月13日（初祈禱）・4月13日（春祭）・9月13日（秋季大祭）に奉納されています。

〔軍荼利明王像〕＝県指定有形文化財  
軍荼利山東浪見寺の本尊で、藤原時代の作と推定されます。桧の一本造り、丈は約2メートルで、素朴な地方色の強い作品です。

〔軍荼利山植物群落地〕＝県指定天然記念物  
標高約40メートルの丘陵地で、軍荼利山の境内の一部にあたります。永い間にわたって信仰的な制約によって保護されてきた原生林という形で残されてきたものといえます。数本のシイの木（樹齢約五百年）の下に暖地性植物（南方系）が自生し、そのなかに北方系

植物も数種類まじっているもので、極相林群落地として植物分布のうえで貴重な意味をもっているものです。主な植物は、ハイハマボツス・ミヤマタゴボウ・キジョラン・ササキカズラ・オオバチドメ・リンボク・ハナミョウガ・フウトウカズラ・ヤブニツケなどです。

〔二上り甚句〕＝県指定無形文化財  
徳川中期に全盛であった地引網漁業につながる生活の歌として生れたものと思われまます。歌もおどりの古い形を伝えているもので、東浪見甚句と呼ばれています。歌詞の一部を紹介すると、

くじら潮ふく 小波のあるに  
沖さ取りだす鳥毛あみ

浜をよばらせ なやおりさせて  
上り下りの顔みたや

小寄り大寄り ひざまでまくる  
深くなったら帯をとく



二上り甚句

このほか、同じグループで、「盆だ歌」「大漁木遣り」「みやざく」などの古い民謡が正しい形で伝承されているので専門家の注目を浴びています。

〔台場と大砲〕＝史蹟

一宮藩では海岸防備のため海岸台場に砲台を築いて、砲七門を備えていました。大砲は茂原市永瀬家と茂原市が所有する二門が残っています。いずれも鋳物製の前装式の大砲です。鋳造は天保15年8月で江戸品川砲台より約8年まえのものです。



加納藩の大砲

# 社会福祉

## □生活保護状況

種 別	受給者数	金 額
生活扶助	34	2,201
医療扶助	21	289
住 宅	12	118
教 育	9	216
葬 祭	2	20

## □保護費の推移

年 度	金 額
昭和36年	2,342
37	2,707
38	3,365
39	3,317
40	3,185
41	2,844

## □身体障害者数

(手帳交付者)

聴覚障害	13
肢体不自由	69
視覚障害	17
言語障害	2
戦 傷	4
計	105

一宮町の福祉行政は、外郭団体の社会福祉協議会の活動によって、生活保護・母子家庭・長欠児童・身体障害者・精神薄弱児童の対策や、助け合い貸付・年末たすけ合い・簡易住宅・児童遊園地・心配ごと相談所などの事業

## □国民年金

### 拠出年金適用状況

対象被保険者数A	適用済被保険者数			適用率 <sup>B</sup> / <sub>A</sub>
	強制B	任意	計	
3,276	2,801	471	3,276	100

### 福祉年金受給状況

区 分	受給者数	支払件数	金 額
老 令	435	435	7,830
障 害	34	34	897
母 子	10	10	228
準母子			
合 計	479	479	8,955
未受領者			

## □保 育 所

名 称	公私の別	所 在 地	園 長	保 母	その他	入 園 児		
						男	女	総 数
一宮保育所	公	一宮町田町17	1	5	3	63	57	120
東浪見保育所	公	一宮町東浪見2556	0	3	3	28	32	60
原 保 育 所	公	一宮町一宮1137	0	2	3	17	11	28
愛光保育園	私	一宮町宮原1148	1	4	3	30	19	49

業を行って福祉の町・一宮の建設に邁進しています。保育所も公立3・私立1があって、恵まれた条件です。そのほか、身体障害児童の収容施設として、町営の「ちどりホーム」があります。

## □町営住宅

戸数	所 在 地	規格	建設年度
10	一宮・西待山	第一種	36
10	〃	第二種	36
20	東浪見久保家	第二種	37
15	一宮野中	第二種	38
15	〃	第二種	39
15	西川間台	第二種	40
15	〃	第二種	41
10	〃	第二種	42(建設中)

町営住宅は、建設中のものも含めて110戸となって住宅問題の解決のため意欲のある施策がとられています。



川間台団地の“町営住宅”



虚弱児童収容施設“一宮学園”



母子福祉センター“なぎさの家”

\*一宮学園 (海岸一宮橋ぎわ)

大正15年8月に財団法人児童愛護会が虚弱児童の収容施設として設立した施設で、その後昭和27年社会福祉法人に改められて虚弱児童の特殊教育を行う私立養護学校として認可されています。

\*なぎさの家 (海岸三保松地先)

千葉県福祉行政の事業として、母子家庭の宿泊・休養施設として工費約2千8百万円で施工されたもので、運営は一宮町に委託されています。



## □ 道 路

	総延長	種 別	
		舗装道	その他
国道	7,000 m	3,924 m	3,076 m
県道	8,921 m	5,790 m	3,131 m
町道	232,713 m	1,954 m	230,759 m
計	248,634 m	11,668 m	236,966 m

## □ 橋 梁

橋 名	橋 長	巾 員
一 宮 橋	4 6 m	7 m
新 一 宮 橋	6 3 m	3 m 5 0
中 之 橋	5 4 m	3 m 6 0

☆新一宮橋は改修中で、完了すれば巾員は5mになります

## □ 新 設 ・ 改 良 中 の 道 路

施工場所	種別	工事規模	竣工予定
128号	国道	新設 延長180m巾員7.5m	昭和43.3.25
128号(市街地)	国道	歩道新設 150m	昭和43.3.19
東浪見駅前	町道	道路改良 延長320m 巾員現在3.6m~5.5m	昭和43.3.25
下 村	町道	新設舗装 延長280m巾員4.5m	昭和43.3.5
県道 ~ 蔬菜出荷所	町道	道路改良 606m 巾員現在2.7m~4.5m	昭和43.3.30

# 土木事業

一宮町内には、国道128号線と県道南総一宮線・飯岡一宮線・片貝一宮線などの主要道路が通っていて交通量も多い現況です。

したがって、従来の道路は狭溢となって破損も激しいので道路行政は困難な状況にあります。しかし重点施策によって市街地の舗装改良は殆んど終わっている現況です。

国道128号線の一部が、鉄道踏切の関係で施工が困難な状況にありましたが国鉄房総東線との立体交差によって解決されることになって、いま工事中です。

## □ 主 要 道 路 の 新 設 改 良 舗 装 の 状 況

区分 年度	施行場所	種別	工事内容	延長m
36	林道軍荼利線	林道	新設	550
38	東浪見停車場線	町道	改良	111
	洞庭湖線	林道	新設	200
40	128号線	国道	改良舗装	200
	一宮停車場線	県道	舗装	2,400
	南総一宮線	〃	〃	500
	飯岡一宮線	〃	新設	150
42	東浪見5号(綱田)	町道	改良	380
	128号線	国道	改良舗装	200
	一宮停車場線	県道	〃	150
	一宮椎木長者線	〃	舗装	200
	飯岡一宮線	〃	新設	480
	一宮片貝線	〃	改良	100
	軍荼利線	町道	新設	130
一宮停車場線	県道	巾員拡張	100	



山ぎわの128号線の工事



天畑地先の国道巾員拡張

# 交通

## □国鉄(房総東線)

東京—82.8km—上総—宮—50.3km—安房鴨川

上総—宮駅=明治30年4月17日開業

東浪見駅=大正14年12月15日開業

## □バス(小湊鉄道)

一宮駅起点=海岸・太東駅・長者町・茂原・太東(国吉  
經由)・大多喜・茂原(小泉經由)行

町内通過=茂原—宮—長者町

# 通信

## □一宮郵便局

郵便業務開始=明治6年6月1日

電信業務開始=明治30年3月16日

電話交換業務開始=明治42年2月21日

受持区域=一宮町・長生村 局員数 42名

区内人口・戸数=20,040人 4,286戸

## □その他の通信機関

無集配郵便局 2局 長生・一松

簡易郵便局 1局 東浪見

## □電話利用状況

区分 名称	加入者数	通話数			備考
		市内	市外		
	発信		着信		
一宮局	411	4,338 (34)	887 (118)	1,339 (153)	☆昭和42年10月27日の1日分の通話数 ( )内は、一宮町有線 放送電話との接続による通話数

# 治安・消防

## □治安・法務関係官庁

名称	設立年月日	備考
一宮警察署	大正15年	茂原警察署一宮分署から昇格
千葉法務局一宮支局	昭和22年4月	
千葉地方検察庁一宮支部	昭和22年4月	
一宮本郷区裁判所	明治24年1月	
一宮家事裁判所	昭和22年1月	
東浪見駐在所	明治23年10月	

## □一宮警察署管内交通事故状況

事故種別	昭和41年		昭和42年	
	件数	死傷者数	件数	死傷者数
死亡	2	2	3	3
人身	45	62	86	115
物損	20		33	
計	67	64	121	118

## □郵便物取扱状況

通常郵便物	普通書留速達	引受	到着	配達
		1,250	2,482	2,138
	32	73	66	
	57	56	49	
小包郵便	普通書留	10	53	43
		0	6	5

☆昭和42年5月8日から3日間の一日平均の取扱数量

## □消防勢力一覽

昭和42.4.1現在

種別	数量(人員)
消防ポンプ	
自動車ポンプ	2
手引動力ポンプ	2
可搬動力ポンプ	15
計	19
水利施設	
貯水槽(池)	36
突井戸	49
消火栓	42
計	127
消防団	
役員	89人
員	223人
計	312人



地引漁の海の幸

## 景勝地

観光地として古くから有名で、「東の大磯」とも呼ばれた別荘地でしたが、最近では海・山・川に恵まれた理想的な観光地としてみなおされてきています。

(海) 黒潮の香り高い太平洋を望んで、九十九里浜の南端の房総十二景「一宮海岸」は夏の観光地として好適です。海水浴場も、動力シャワー・脱衣場・宿泊設備・救助施設なども完備しています。

(川) 町の北部を流れる一宮川は、投網・釣・船遊びに適しています。川魚の味覚は食

通の推賞するところで、うなぎ・はぜ・ぼら・いな・ふな・しじみなどがとれます。また夏季は駅北側鉄橋から海岸まで約2キロに渡船があって観光客に好評です。

(山) 町の西側の丘陵地帯は、洞庭湖・網田堰・雨竜湖・軍荼利堰・高藤山・軍荼利山などの景勝地や湖水が多いのでハイキング・釣などに適しています。

(その他) 太東岬・鳴山方面の雄大な景もようやくみとめられるようになって開発もすすんでいきます。

## 行事

〔1月10日＝初金比羅〕

玉崎山観明寺境内の金比羅堂の祭礼です。寺伝では約170年前に一宮町上宿の町人が大願成就を期して四国の琴平神宮の分霊を請けて信仰したもので後に観明寺に献納されたものといわれます。現在は水産業関係者の信仰の対象となっています。

〔1月13日＝初祈禱〕

玉前神社の神事で神楽の奉納があります。

〔1月28日＝軍荼利祭〕

軍荼利山東浪見寺の軍荼利堂の祭礼です。

〔3月15日＝経堂祭〕

玉崎山観明寺の経堂の祭礼です。経堂には釈迦入滅の絵図の大掛軸が掛けられます。また、境内に植木市が開かれます。

〔4月13日＝玉前神社春祭〕

神楽の奉納のほか神事が行われます。

〔4月初旬＝洞庭湖の桜〕

洞庭湖は天保年間に築造された灌漑用人造湖で約6.8

ヘクタールの面積です。天保15年の記念碑に「呈桜樹数株干天女 以修造焉」とあり池の周囲に桜が植樹されたのでいまは桜の名所として有名です。

〔8月16日＝火花大会・灯笼流し〕

一宮名物の火花と灯笼流しで、一宮橋から鉄橋付近まで数万の人出でにぎわいます。

〔9月10日＝鶺鴒神社迎祭〕

陸沢村岩井の鶺鴒神社の神輿と行列が玉前神社に渡御します。この行事は古式によつた神事で、両神社の密切な関係を示めているものです。

〔9月13日＝はだか祭〕

玉前神社の秋季例祭で、昔は十二社の神輿が東浪見地区釣ヶ崎まで渡御しましたがいまでは参加する神輿が少なくなっています。しかし広々とした太平洋の海原を背景にはるかに続く波打ぎわを疾走するたくましい裸の若人と神輿の列は、すばらしい壮観です。そのほかこの祭礼は古式ゆかしい行事が残されていて全国的にも珍しいものです。

〔10月27日＝愛宕祭〕

賑かな笛・大鼓の御囃が有名で神輿二社の渡御もあります。



花の洞庭湖

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

一宮町勢要覧

